

臨床研究「癌間質をターゲットとした新規治療の開発」について

筑波大学附属病院消化器外科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究に関する問い合わせ、または研究への参加を希望しない場合は、担当者までご連絡をお願いいたします。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究対象

2024年1月31日までに当院で膵臓癌の切除術を受けた患者で、以下の方を対象と致します。

i) 当臨床研究が倫理委員会にて承認される以前(2015年以降)に、当院で手術をお受けになった患者様で、手術の際のインフォームドコンセントを確認させて頂く同意書で、手術検体を研究目的に使用する項目に同意を頂いている患者様(注:本文書を病院の外来・ホームページに掲示することで、患者様個々への説明と同意文書取得の代替とさせて頂きたいと思えます。)

ii) 倫理委員会承認後~2024年1月31日までに当院で手術を受けた患者様(手術内容の説明時に、お話をさせて頂きます。)

② 研究の意義・目的・方法

膵癌は難治性がんの代表であり、医療技術が進歩した現在でも早期発見、早期手術のみが根治を目指せる治療となっており、新規治療の研究開発が切望されています。これまでも多くの抗癌剤や放射線治療が開発されてきましたが、その効果は十分とは言えません。膵癌治療の新たなターゲットとして、癌細胞の周りに存在する「間質」に注目が集まっており、治療法も報告されておりますが、臨床応用までは至っていません。そこで細胞の顔と称される「糖鎖」に着目し、つくば市にある産業技術総合研究所が独自に開発した装置を用いて「間質」を構成する細胞の「糖鎖」を解析し、新規治療の開発、新たなマーカーの開発を目的とした研究を行うこ

とになりました。これまで当院で手術を行った患者様の病理検体、及び今後手術を予定する患者様に同意を得たうえで、手術時に病理診断に使った残余分やお腹の組織の一部を頂いて「間質」を構成する細胞を抽出します。これを研究材料として用いて、産業技術総合研究所と共同で新たな膵癌の早期発見マーカー、新規治療の開発を行うものです。

③ 研究機関名・研究者名

筑波大学附属病院 消化器外科

小田 竜也、下村 治、木村聡太、宮崎貴寛、大河内 信弘

国立研究開発法人) 産業技術総合研究所 細胞分子工学研究部門

館野浩章、木田泰之

④ 保有する個人情報に関する利用目的

個人が特定されない形での論文発表、学会発表を行うことがあります。どの発表形式においても、個人を特定するような名前、住所、イニシャル、カルテ番号などの項目は使用致しません。

⑤ 保有する個人情報の開示手続

対象となった患者様、あるいはご家族には研究内容についてお答えすることは可能です。また本研究に診療情報を提供を希望されない方につきましても、対応いたしますので、問い合わせ先にご連絡下さい。

⑥ 保有する個人情報の問い合わせ・苦情等の連絡先

筑波大学附属病院

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

研究責任者：消化器外科 小田 竜也

電話：029-853-3211

FAX：029-853-3222